

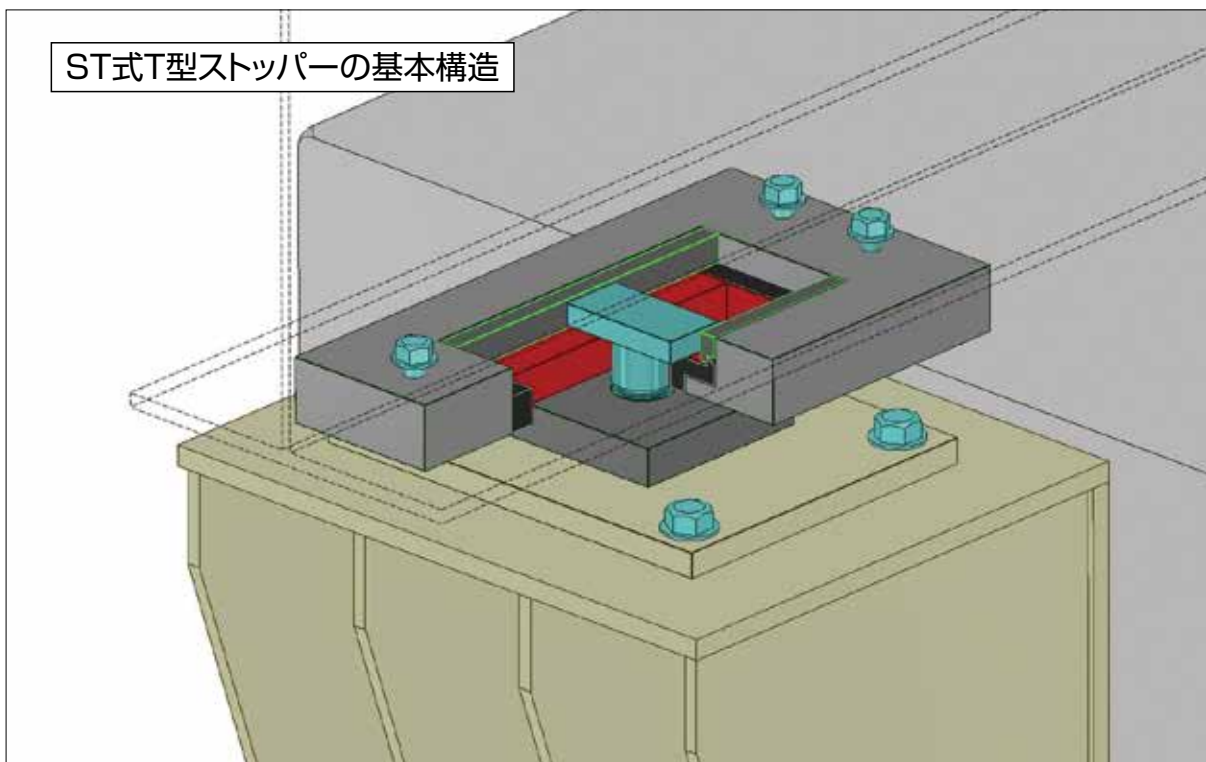
ST式T型ストッパー

はじめに

ST式T型ストッパーは地震によって生じる橋桁の橋軸方向、橋軸直角方向の変位を抑制する変位拘束装置です。構造がシンプルで施工性に優れており、コンクリート桁橋、鋼桁橋の双方に対応可能です。

上部構造の落下防止対策として、当製品は落橋防止システムを構築する有効な手段となります。

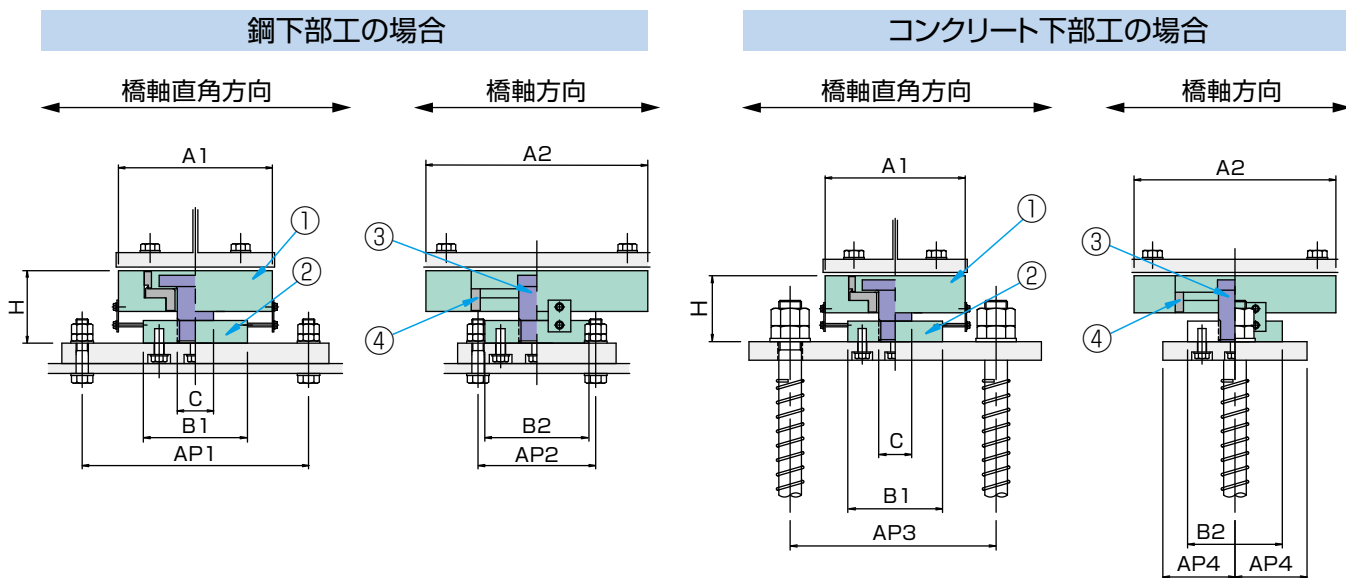
ST式T型ストッパーの基本構造



特長

1. コンクリート桁、鋼桁の双方に使用でき、地震時慣性力に応じた構造設計が可能です。
2. 大部分を圧延鋼材の組合せにより製作するため、自由な形状の設計が容易になります。
3. すべり緩衝ゴム(クロロブレンゴム)が水平力、上揚力を緩和します。
4. 防錆処理は通常の亜鉛めっきだけでなく、防錆効果の高いSGめっきや二重防錆SGめっき+ナイロンコートを使用環境に合わせて採用できるため、LCCの向上が図れます。
5. 諸条件により一般タイプ及び上揚力対応タイプが選択できます。

基本構造断面図



基本寸法表

単位：mm

タイプ	移動量	A1	A2	B1	B2	C	H	AP1	AP2	AP3	AP4
200kN	0～55	290	260～360	180	180	60	140	400	170	400	115
300kN	0～55	300	270～370	200	200	70	145	450	230	450	150
400kN	0～55	320	330～430	200	200	80	155	450	230	450	175
500kN	0～85	340	340～490	230	230	80	160	500	260	500	175
600kN	0～85	370	340～490	230	230	90	165	500	280	550	200
700kN	0～85	390	450～600	250	250	90	170	550	320	600	225
800kN	0～85	400	450～600	270	270	90	170	550	320	600	225
900kN	0～85	420	480～630	280	280	100	180	600	340	650	250
1000kN	0～85	430	480～630	290	290	100	180	600	360	650	250
1200kN	0～115	460	500～700	330	330	110	205	640	390	700	260
1400kN	0～115	500	550～750	330	330	120	210	690	410	740	275
1600kN	0～115	550	550～750	350	350	120	215	750	400	800	275
1800kN	0～115	570	620～800	380	380	130	230	770	410	820	285
2000kN	0～115	600	620～820	400	400	140	235	810	400	870	285
2500kN	0～115	620	650～850	450	450	150	255	840	390	920	300
3000kN	0～115	700	720～950	500	500	170	265	940	410	1020	325

※ベースプレートおよびアンカーボルトはセットに含まれていません。
 ※下部構造定着形状は参考です。構造に合わせて検討して下さい。

基本仕様

番号	名称	材質・仕様
①	上沓	SM490A
②	下沓	SM490A
③	ストッパー	SCM435
④	すべり緩衝ゴム	CRゴム+PTFE

東京ファブリック工業

支店

札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
 金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島



お問い合わせ先

本店

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
 URL : <https://www.tokyo-fabric.co.jp/>